

★ 2023年植樹活動Report ★



地球温暖化防止への取り組みとして昨年に引き続き、2023年5月21日（日）に山梨県笛吹市で植樹活動を行いました。

当日は甲府市のこどもエコクラブ『和泉エコクラブ』の子供達にも参加いただきました。

* 『こどもエコクラブ』は日本環境協会による子供たちのエコ活動を支援する事業で、当社もEV車（電気自動車）1運行につき500円を同クラブに寄付しています。

まず植樹場所で森の管理をして下さっている黒坂オートキャンプ場の角田社長より森に住む昆虫や生き物・木の役割などを説明いただき、子供たちだけでなく大人の私たちも「そうなんだ!」「なるほど!」と感心するお話を伺い、理解を深めました。昨年植樹した苗木の成長した姿を嬉しく確認しつつ、下草刈りからスタート。

自然を活かす同市の思いから人工林のスギやヒノキではなく、この地に昔から生えているクヌギの苗木を20本植えました。

子供たちからも植えて終わりではなく、苗木の成長確認・育樹も兼ねて来年も一緒に植樹ができたらと環境に取り組む姿勢に共感しつつ、当社として取り組みを継続し、将来『日の丸の森』が出来ればと考えております。

環境保護のため植林も大切ですが、間伐、伐採手入れも重要で森林の保全は地域の生態系保持のほか、地盤の安定化や水資源の確保、防風などの自然災害から暮らしを守る事にも繋がっています。樹木は光合成によりCO2を吸収し、酸素を放出する一方で生きていく為の呼吸（酸素を吸収しCO2を排出）もしています。若木は呼吸で使われる酸素量より、光合成でCO2を吸収し排出される酸素量が多いのですが、老木はその逆でCO2の排出量が多くなります。将来的には間伐・伐採など森のトータル管理、伐採した木の有効活用も考えていきます。

私たちは今後も温暖化防止の活動を続けてまいります。

★ 2023年植樹活動 Photo Gallery ★



★ 2023年植樹活動 Photo Gallery ★



★ 森のものでリース作り Photo Gallery ★



植樹後、『森のリース』を子供たちと一緒に作りました。

枝を麻ひもで結んでリースを作り、松かさ、ドングリ、ドライフラワーなどを貼り付け、個性あふれるリースを作成しました。

リースとは？…幸せを願って常緑樹(永遠の象徴)の枝を玄関に飾ったことから、魔除け・豊作・幸福を願う意味があると言われています。